

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



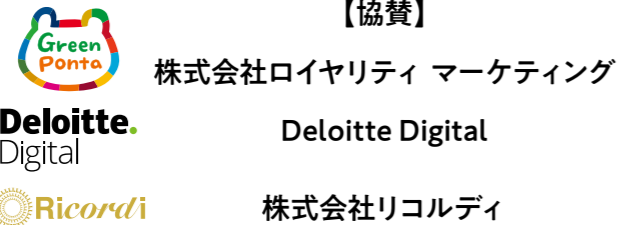
【主催】

BEYOND 2020 NEXT FORUM 実行委員会 / 二十一世紀倶楽部 / 産経新聞社 / 株式会社ヘッドライン
株式会社フロンティアインターナショナル / 株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ

【後援】

内閣府 (beyond2020 プログラム認証事業) / 外務省

【協賛】



【協力】



早稲田大学グローバル科学知融合研究所 / WASEDA EDGE-NEXT 人材育成プログラム実行委員会

Beyond 2020 Next Project / 日本工業新聞社

子ども未来国連

SDGs Peace Communication Project BEYOND 2020 NEXT FORUM 実行委員会 March.27.2021

みんなで考える未来の地球「子ども未来国連」会議



第1回「子ども未来国連」会議

【日時】2021年3月27日(土) 13～18時 【会場】SMALL WORLDS 3F WORLD LAB (東京都江東区有明 1-3-33 有明物流センター)
【注意事項】当日の写真及び動画はニュースなどで紹介されます。写真や動画での撮影を希望されない方はスタッフにお伝えください。

13:00	開会セレモニー
13:15	第1部「SDGs や社会課題を知ろう」 グループ自己紹介～SMALL WORLDS TOKYO 内を探索など
14:00	第2部「未来について“考える”」 模型を作りながらグループワーク
15:20	第3部「考えや思いを“伝える”」 各グループごとに2030年に向けた宣言をボードに書き込み発表
17:00	MIYAVI さんによる音楽セッション
18:00	終了予定

下記に同意いただいた方のみご入場いただけます。

ご来場の皆様へ

本イベントにおいて新型コロナウイルス感染症防止対策を講じております。

新型コロナウイルス感染症防止対策へのご協力をお願い



マスクの着用
Wear a face mask
佩戴口罩



検温
Temperature checks
測量体温



アルコール消毒
Disinfect hands
酒精消毒



フィジカル・ディスタンス
Maintain about 2m of Physical distancing
社交场合保持2米距离

以下に該当する方のご入場はお断りしております。
We will reject entrance for those who have any symptoms below
谢绝出现以下症状的来访者入场



37.5℃以上の熱がある方
Fever of 37.5°C or above
体温超过37.5度



せき・だるさがある方
Cough or feeling nauseous
咳嗽・有倦怠感



過去2週間以内に海外渡航歴がある方
Visited overseas in the past 2 weeks
过去的2周内出过国



身近に感染者がいる方
Have close contact with someone infected with corona virus
接触过感染者

注意事項

- 本イベント中に体調が悪くなった方は、別室への移動をお願いする場合がございます。
- 記録用にイベント内の写真撮影を行っております。個人情報提供をお願いする場合がございます。

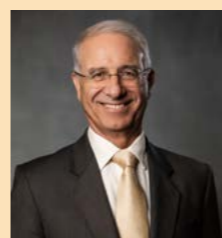
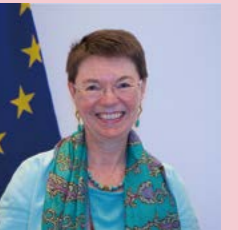
※新型コロナウイルス感染防止策を十分に講じておりますが、感染リスクはゼロではございません。
イベント事後に新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合の一切の責任は負いかねます。

皆さんこんにちは内閣官房長官の加藤勝信です。
このたび、未来を担う世代の子どもたちが世界から集まってSDGsのテーマを考える「こども未来国連」の第1回目イベントが開催されると聞きました。
2030年、皆さんが大人になっている時代です。世界の同世代の人たちとコミュニケーションの場を持って、どんな時代にしていくのかをそれぞれの国の友だちと考えてみてください。
未来を具体的に想像してみてください。将来やりたいことを考えてください。そして、その夢を実現するという強い意思を持って、ひとつひとつ課題解決に取り組んで下さい。きっと明るい未来が切り拓かれていくと思います。私達大人も、そんな皆さんを応援していきます。チカラになれるように頑張ります。加藤勝信(内閣官房長官)



2030年は皆さんにとって、“生きる現実”なのだと思います。世の中にはたくさんの課題がありますが、自分にとって、将来にとって、地球にとって良い未来のために、“今の自分に何が出来るんだろう”と考えるところから、ぜひSDGsを始めてほしいと思います。考えて踏み出した一歩が、大人になって振り返れば、“社会がそうならなくて良かった”という未来に繋がっているかもしれません。“あってほしい未来”に向かって、ぜひ踏み出して下さい。
吉田綾(外務省 国際協力局 地球規模課題総括課長)

皆さんへの期待は、SDGsのために集まり、共通のゴールを目指して協力してほしいということです。日本やヨーロッパ、アメリカ、アジアなど、どの国の出身であるかを気にする必要はありません。出身に関わらず、私たちは同じ人類であるのだからということを受け入れて、私たちの地球のためにできることは何か、ということに関心を持ってほしいと思います。気候変動やパンデミック、クリーンな海など、今日私たちが直面するチャレンジは、1つの国や国籍だけでは解決できないのです。国境や世代、政府、ビジネス、社会をまたいで協力が必要です。私自身も実際に国連で仕事をすることがありますが、やはりあらゆる人々を1つにまとめる取り組みはやるべきことだと思っています。子どもたちには共通の関心を持って、ぜひ未来のために考えてくれることを期待しています。なぜならSDGsの精神は、あらゆる人がそれぞれの資源や創造力を発揮して、課題を解決するという理念に基づいているからです。ぜひ“誰ひとり取り残さない”ということを実現しましょう」パトリシア・フロア(駐日EU大使)



新型コロナウイルスの感染拡大は、人類が直面している様々な課題を克服するためにはすべての人々が連帯することが必要であることを今まで以上に強く示しました。
子ども達の成長は全世界の将来に関わる共通の課題であり、世界中のすべての国々が、子ども達の生活条件を改善に取り組み、知見を蓄えていく必要があります。モロッコでは、国王モハメッド六世陛下のリーダーシップのもと、子供たちの成長に関わる様々な側面、すなわち教育、健康、栄養、権利の保護と保障などにおける総合的な改革を推進してきました。
モロッコは国のより良い発展に向けて多大な投資と努力をし、国連の持続可能な開発目標(SDGs)のウェブサイトに国際的に認められています。さらに、持続可能な発展、アフリカにおける社会経済開発の促進、持続可能な開発のための2030アジェンダの持続可能な開発のための17の目標の実現に向けた、国連のアフリカグループのコーディネーターの役割を担うよう2年連続で選ばれました。私はより良い未来を創造できるのは子供たちだけだと強く確信しています。世界の子供達へ、より良い世界を築いていってください。ラシャッド・ブフラル(駐日モロッコ王国大使)

【スペシャルサポーター】加藤勝信(官房長官)
【コミュニケーションサポーター】中山泰秀(防衛副大臣兼内閣府副大臣)、鈴木隼人(外務大臣政務官)、星野俊也(大阪大学教授、前国連大使)、MIYAVI(アーティスト、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)親善大使)、堀潤(ジャーナリスト)、若林理紗(Deloitte Digital スペシャリスト)、竹村真紀子(IWCJ(一般財団法人 International Women's Club JAPAN)代表理事、スモールワールズ教育委員会)、吉橋明日香(外務省 国際協力局 地球規模課題総括課 経済協力専門員)
※敬称略



中山泰秀
防衛副大臣兼内閣府副大臣



堀潤
ジャーナリスト



MIYAVI
アーティスト、UNHCR 親善大使